

成果報告書

湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」 第3期

代表：総合政策学部 4年 蒲地亜紗

報告書作成者：総合政策学部 2年 坂井勇作

1. 集会名称あるいは活動の名称と概要

「ファミリービジネス後継者育成講座」

開催地：慶應義塾大学三田キャンパス G-SEC Lab 6F

開催日時：2011年1月18日（火） 11:30～14:30

企画：飯盛義徳研究会ファミリービジネス研究プロジェクト

2. 目的

近年、地方の衰退が著しい。その要因の一つとして地方で存続してきた企業の廃業がある。企業の存在は雇用、税金等その地方に大きな貢献をしているが、地方では中小企業の廃業が増加している。その中小企業の廃業で大きな一因となっている問題が後継者不足である。特に近年は地方中小企業の後継者が都市部の大学に進学することで継ぐ意識が薄くなっていることが問題ではないかと我々は考えた。我々はその問題に対して、都市部から地方の後継者不足問題を解決することはできないかと考えた。地方から上京して集まってきたファミリービジネスに関係する学生を対象に働きかけをすることで、出身地へのUターンを促し、Uターンした結果、その地域の中小企業の後継者、地域活性化を先導する人材になるのではないかと考え、この研究、活動を行った。

3. 参加者

慶應義塾大学総合政策学部 飯盛義徳准教授

株式会社茶加藤 10代目社長 加藤宗兵衛氏

株式会社崎陽軒開発本部企画開発部部长 野並晃氏

政策・メディア研究科修士課程 1年 伊藤妃実子 総合政策学部 4年 蒲地亜紗

環境情報学部 3年 佐藤達朗 総合政策学部 3年 水野大揮

環境情報学部 3年 田中総一 総合政策学部 3年 梅沢彩子

環境情報学部 3年 石島紅奈 総合政策学部 2年 岡崎博門

総合政策学部 2年 奥津慶大 総合政策学部 2年 坂井勇作

講座参加学生の方々（慶應義塾大学在学中）16名

講座参加有識者の方々15名

4. 当日のプログラム

- 11:00～ 開場
- 11:30～ ファミリービジネス研究プロジェクトチームからの挨拶、趣旨説明
- 11:45～ 基調講演（飯盛義徳准教授）
- 12:15～ パネルディスカッション（加藤宗兵衛氏、野並晃氏、飯盛義徳准教授）
- 13:10～ 休憩
- 13:20～ ケースディスカッション（ケース教材「本坊酒造株式会社」）
- 14:30 事後アンケート

パネルディスカッションでは質疑応答の時間が不足するほど質問が飛び出し、参加者にはとても有意義な時間となった。また、ケースディスカッションでは学生がケースリーダーとなって、学生主体で本坊酒造株式会社のケースを使って議論を深めた。

5. 成果

講座内ではファミリービジネスの社長をゲストとしてお迎えした。この講座ではゲストとの交流やケース教材の利用によって参加学生の、「自分が後継者に当たる企業を廃業させたくない」、「ふるさとを活性化させたい」という気持ちを促すだけでなく、後継者候補という自分と同じ境遇である人とのネットワークの形成を促すことができたであろう。

また講座の前後にとったアンケートを比較すると、意識が変わったことがうかがえる。例えば、地域への愛着（将来地域にもどりたいかどうか）は講座を受ける前から持っていた方が大半だったが、後継者として会社を継ぐ気持ちがあるかという質問に対しては講座前、積極的でなかった方がいた。その方々が少しでも前向きに考えてくれたということがアンケートからわかった。「同じ境遇の方の話聞いて参考になった」という意見も頂いた。



【写真左】 ケースリーダーの奥津

【写真右】 講座を受講する受講者の方々

6. 今後の展開

アンケートの結果からもこの講座を行った意義を再確認した。しかしながら反省点も受講者の方々から、運営側から共に多く挙げられた。会場などのハード面と講座内容のソフト面から反省点を見直し、来年度以降も受講者にとって多くの気づきの機会となるような講座を行っていく予定である。